

# 試合や技術講習 バスケットで交流

福島の子供たち、西宮に

武庫川女子大学(西宮市池開町)では、福島県と兵庫、大阪の女子中学生がバスケットボールを通して交流する「武庫川CUP」があった。今年も福島市立信夫中と福島第一中のバスケットボール部が招待され、試合や技術講習を楽しんだ。

武庫川CUPは2000年、阪神・淡路大震災で被災した地元の子どもを励ますと、武庫川女子大バスケット



真剣な表情で試合に臨む中学生  
西宮市池開町

トボール部が企画。13年からは、西宮恵美寿ロータリークラブが東日本大震災の被災地支援として協力している。

11日は予選リーグがあり、会場には応援の声が響いた。福島第一中の秋元梨歌さん(14)は「ニュースで福島の子が避難先でいじめられたと聞く。招待してくれることに感謝し、県の代表として頑張りたい」。信夫中の菅野茉奈さん(13)は「いいプレーを多く見られた。まねしたい」と話した。

12日は決勝トーナメントを予定する。

(中川 恵)